

SUMMER

CONCERT

大阪大学混声合唱団

1975年7月13日（日）新見市市民会館 / 開場13:00 / 開演13:30

1975年7月15日（火）倉吉市福社会館 / 開場18:00 / 開演18:30

鳥取県倉吉市教育委員会

後援：新見市教育委員会 / 協賛：関西学生混声合唱連盟 / 主催：大阪大学混声合唱団

プログラム A

〔I〕 三善 晃作 「小さな目」より

指揮 西岡茂樹

- | | | |
|-------------|----------|--------|
| 1) せんせい | 4) ひろちゃん | 7) けんか |
| 2) かめ | 5) みそしる | 8) ピアノ |
| 3) 先生のネックレス | 6) いもおい | |

〔II〕 J. Haydn 作 「天地創造」より

指揮 西岡茂樹

- 1) Die Himmel erzählen die Ehre Gottes
- 2) Vollendet das grosse Werk

〔III〕 平吉毅州作 混声合唱のためのスケッチ 「夢」

指揮 前田 純

- 1) こうのとりのとり
- 2) 帆立貝
- 3) 猿

〔IV〕 J. S. Bach 作品集

指揮 前田 純

- 1) Kantate Nr. 12 Weinen, Klagen, Sorgen, Zagen
 - a) Chor ; Weinen, Klagen, Sorgen, Zagen
 - b) Choral ; Was Gott tut, das ist Wohlgetan
- 2) Kantate Nr. 21 Ich hatte viel Bekümmernis
Chor ; Sei nun wieder zufrieden, meine Seele-Was helfen uns die schweren Sorgen
- 3) Johannes Passion
Choral ; Ach Herr, lass dein lieb' Engelein

ごあいさつ

大阪大学混声合唱団顧問教官

佐賀二郎

(基礎工学部教授)

大阪大学混声合唱団が初めて御当地へ演奏旅行にやって参りました。私たちは創立以来二十数年の伝統を持ち、毎年一回冬の定期演奏会の他に、夏の六大学合同演奏会と、今回のような地方演奏会を催す等、幅広い活動をしております。しかし学生団体のこととて、毎年団員の出入りが激しく、一般のアマチュア合唱団のように技倆を十分磨く時間のないのが悩みの種です。そんなわけで、御期待に副える演奏になるか一寸心配ですけれども、一生懸命やりますので、どうか最後までお聴き下さいますようお願い申し上げます。

今回は合唱曲として最も古い時代のものと、最も新しい時代のものを取上げました。両者の差がうまく表現できましたら望外の喜びです。簡単ですがこれでご挨拶に代えます。

プログラム

〔Ⅰ〕 三善 晃作 「小さな目」より 指揮 西岡 茂樹

- | | | |
|-------------|----------|--------|
| 1) せんせい | 4) ひろちゃん | 7) けんか |
| 2) かめ | 5) みそしる | 8) ピアノ |
| 3) 先生のネックレス | 6) いもおい | |

〔Ⅱ〕 J. Haydn 作 「天地創造」より 指揮 西岡 茂樹

- 1) Die Himmel erzählen die Ehre Gottes
- 2) Vollendet das grosse Werk

〔Ⅲ〕 倉吉市市民コール・ソサィアティ 「日本の子供の歌」 指揮 佐々木 道也

- | | |
|---------|-----------|
| 中 田 喜 直 | 1) もんく |
| 磯 部 俣 | 2) び わ |
| 〃 | 3) みのむしさん |
| 〃 | 4) つりかわさん |
| 中 田 喜 直 | 5) よるのそら |

〔Ⅳ〕 平吉 毅州 作 混声合唱のためのスケッチ 「夢」 指揮 前田 純

- 1) こうのとりに
- 2) 帆立貝
- 3) 猿

〔Ⅴ〕 J. S. Bach 作品集 指揮 前田 純

- 1) Kantate Nr. 12 Weinen, Klagen, Sorgen, Zagen
 - a) Chor ; Weinen, Klagen, Sorgen, Zagen
 - b) Choral ; Was Gott tut, das ist Wohlgetan
- 2) Kantate Nr. 21 Ich hatte viel Bekümmernis
Chor : Sei nun wieder zufrieden, meine Seele-Was helfen uns die schweren Sorgen
- 3) Johannes Passion
Choral ; Ach Herr, lass dein lieb' Engelein

ごあいさつ

大阪大学混声合唱団部長

石 原 謙

合唱音楽の面白さを少しでも多くの方々に知って貰えたら…。との願いを胸にはるばる大阪からやって参りました。合唱音楽などと粋がっておりますけれども要するに歌を唱いに参ったのです。

おそらく皆様方は、合唱というものにあまり馴染みが無いと思いますが、考えてみますと歌はまだ楽器というものが無かった大昔から私達の楽しみであったのではないかと想像されます。

さて、この合唱という人間臭い音楽は、実は聴いていただくよりも一緒に唱っていただく方がずっと楽しいのです。ですから機会があれば皆様方も是非御自分でお唱いになってみることをおすすめします。

本日、私達の演奏から合唱の面白さをほんの一端でもわかって下されば、この上無い幸いです。どうぞ気楽に演奏をお楽しみ下さい。

歓迎のことば

倉吉市教育委員会

教育長 丸 井 晴 美

今日、ここに大阪大学混声合唱団の若い方々をお迎えして地方定期演奏会が開催されますことを心から歓迎いたします。

阪大混声合唱団は二十数年の歴史と伝統をもち、常に向上と合唱の本質を求めてやまない真摯な努力と幅広い活動を重ねておられることを聞きますに、その若者の情熱に深い敬意を表したいと思えます。その情熱の結晶を倉吉市における地方定期演奏会として発表していただく訳ですが、合唱を愛する倉吉市民と若者の心が音楽を通じて清流のごとくかよい合うことを期待しております。

この阪大混声合唱団地方定期演奏会がこれにて終ることなく、いつまでも継続されることをお願いし、それとともに当地の合唱活動の発展の一石となることを期待したいと思います。

おわりになりましたが、阪大混声合唱団地方定期演奏会の成功をお祈りし、歓迎のことばといたします。

団プロフィール

大阪の郊外、豊中市待兼山から遙々やって参りました総勢80余名。本日はいたって神妙な Soprano、Alto、Tenor、Bass の連中も、普段の姿は、食べることと、しゃべることに専念する女性陣に、酒と麻雀で日々を送る男性陣……とごくありふれた大学生なのです。

いつ行ってもピアノの音と歌声と笑い声の絶えない部室は、人数の割に小さいのが悩みの種。でも、軽音楽部のドラムが外で喚き立てようと、中古のピアノの調律が少々狂ってしようと、私達にとっては「狭いながらも楽しい我家」なのです。

練習は週に2、3回放課後に行なっています。鬼のような指揮者に責めたてられても、なお歌い足りない私達は、毎日昼休みに集まっては、食事も忘れて、美声(?)を響かせています。

18才のうら若き乙女から年齢不詳の古強者まで、はたまた夢多き文学少女からヤブ医者(?)の卵まで。さて、この種々雑多な集団から生まれますハーモニーは如何なものに……

